

令和4年度小金井市一般会計歳入歳出決算不認定を踏まえた措置の報告について

不認定日	不認定の理由	講じた措置
<p>令和5年10月5日</p>	<p>令和4年度中に多くの部署で起きた会計事務における過年度処理による収入、支出を始め、繰り返し起きた不適正な事務が含まれる令和4年度一般会計歳入歳出決算について不認定とされたもの</p>	<p>本市の事務執行に当たり散見された不適正な会計処理について、再発防止に向け、次のとおり令和4年度小金井市一般会計歳入歳出決算不認定を踏まえて必要と認める措置を講じた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コンプライアンス意識醸成の取組 <p>コンプライアンスの視点で職員自身や職場の状況を見つめ直す機会を定着させるため、全職員を対象とし、「コンプライアンス・セルフチェック」を実施した。今後も継続して行うことにより、コンプライアンスについて、市の基本方針を再確認し、仕事の進め方に対する危機管理を促す。</p> 2 会計事務における危機管理の取組 <p>組織的に伝票の不備を減少させ、適正かつ円滑な会計事務を期するため、この2月を伝票審査強化月間として、伝票の差し戻し、会計課への持込遅延、口座振込不能の課ごとの件数の統計をとり、所管の管理職者に直接注意を促す取組を行う。</p> <p>この取組により、管理職者に対し、所管部署における会計事務の不備状況の実態を認識させ、会計事務に係る危機管理意識の醸成を図る。</p> 3 更なるコンプライアンス推進の取組 <p>組織、財務、法務など、様々な視点により、客観的、かつ、より詳細に事案発生の原因を分析した上で、全庁に共通する課題を抽出し、改善に向け、庁内全体で取り組む必要があるとの認識に至ったことから、コンプライアンス推進委員会の下に、プロジェクト・チームを設置し、課長職者により事案の分析、今後の再発防止策をまとめていく取組を進める。分析の結果については、事案の発生部署にとどまらず、全庁に共通した課題として事務にいかす。</p>